

世 羅 町

学校、家庭、地域が一体となって取り組む道徳教育の推進

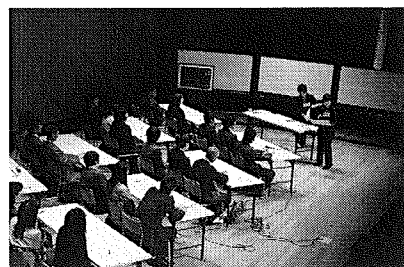
— 家庭・地域との連携を通して —

家庭・地域との連携を充実させるために、各学校において、道徳懇談会、シンポジウム、道徳講演会等を実施しています。

1 実践事例

(1) 平成21年度世羅郡PTA連合会教育フォーラムにおける道徳の時間模擬授業

- 実施日：平成21年10月10日（土）
- 参加者：365名
- 主題名：「郷土を大切に」[第3・4学年 4－(5)]
資料名：「ホテル祭り」（自作資料）
- 授業者：世羅町立せらにし小学校
教諭 友成 知佳子，教諭 松本 姻



○感想

- ・事前の準備がとても大変だったと思いますが、とても工夫されていて良かったと思います。授業の内容も地域を題材にされた自主教材で、ふるさとのよさを再認識でき、よい試みだと思いました。最後の世羅の映像がとても良かったです。道徳の終末にふさわしいと思います。
- ・参観で授業を見せていただく事はあっても、先生方がどのように授業づくりに取り組まれているのか知る機会はありません。日頃の授業に先生方がこれだけ一生懸命取り組んでおられるということを我々もしっかり受け止め、家庭も学校と同じ思いで子育てにがんばりたいと強く思いました。

(2) 平成22年度世羅町立宇津戸小学校教育研究会における道徳教育シンポジウム

- 実施日：平成22年6月22日（火）
- シンポジウムテーマ：「地域とともに育む子どもの心」
- 内容：学識経験者、地域の方、宇津戸小学校教諭・児童から、地域教育資源を活用した実践事例の紹介、地域行事を体験しての感想を出し合い、ふるさとを大切にする態度の育成について展望を持った。



2 現状と課題

- 家庭・地域と連携した道徳教育を行うことは、夢や希望をもって、その実現に粘り強く取り組み、郷土や国を愛する児童生徒の育成に有効である。また、学校・家庭・地域との信頼関係、相互理解を深めるためにも有効である。
- 今後も継続して、道徳懇談会・シンポジウム・道徳講演会等を通して保護者や地域の方と道徳教育について話す機会をつくる等、学校・家庭・地域が一体となり、児童生徒の豊かな心を育てていく取組を進める。